

“でんきを消してスローな夜を。”をテーマに夏至と冬至の2回、全国で行われている100万人のキャンドルナイト。昨年の冬至に引き続き今回が2回目となるキャットストリートでは、全9箇所で開催・パフォーマンスが行われ、デザイナーの深澤直人氏も参加するなど盛り上がりました。



照明探偵団が担当したスターバックス



スタッフは間際まで制作に取り組んだ



(左から)竹村氏、面出団長、深澤氏による講評も行われた

パフォーマンスを行うか。事前に3回のワークショップが行われ、それぞれのチームが頭を悩ませながら、本番を迎えることになります。照明探偵団が今回担当したのはスターバックス・表参道B-SIDE店。キャットストリートから1本入ったところにある2階建ての建物です。通りに大きなガラスのファサードが面しているので、内側がよく見える。この建物の特徴を活かした照明計画ならぬ、キャンドル計画が行われました。一番大きく見えてくる天井面をLEDでブルーに染め上げ（キャンドル以外の光源を使うのはやや違反ですが・・・）、キャンドルの光をほのかに透過させる30cmほどの筒を窓側に等間隔に並べていきます。お店の協力で店内の照明も全体的に調光され、背景の薄明かりがつけられました。天井のブルーとあたたかなキャンドルのオレンジ色の光がコントラストで何とも美しく、いつものスタバがこの日は大変身しました。その他にもショッピングバッグにキャンドルを入れた、キャンドルナイト限定バッグを持ったスタッフが辺りを闊歩したり、キャンドルのあかりだけでデザインされたカフェでライブが行われたり、と趣向を凝らしたパフォーマンスの数々が行われました。

■隠灯ゲリラ?

夜に一度キャットストリートを歩いてみてください。表参道から一本入ったこの遊歩道は車がほとんど通ることも無く、本当はリラックスして夜の散歩を楽しめる道のはず。通りに並ぶ小さなインテリアショップや洋服屋さんには閉店後の

ショーウィンドウを眺めているだけでも楽しい・・・しかし、この通りの景観を台無しにしているのが狭い通りに乱立する街路灯。約20mピッチで建ち並ぶこの街路灯が、どう考えても夜の散歩にはいらぬ光の量を放っています。この街路灯さえ無ければもっと心地よい夜の景色が得られるのでは、と考えると、これを隠灯してしまう、つまり隠して光を出さないようにしてしまうというゲリラが今回は試行されました。

担当したのは武蔵野美術大学のチーム。長い竿のような2本の棒の先に黒いビニール袋を貼っただけの道具でしたが、これを「隠灯!」という合図とともに通りに建ち並ぶ街路灯を隠していきます。

照明探偵団のライトアップゲリラはお馴染みの方も多岐に思いますが、隠灯ゲリラなんて初めての試み。

常々面出団長も「忌々しい・・・」と言ってはばからないキャットストリートの街路灯ですが、この隠灯ゲリラ計画は思いの外の効果で、周囲からは歓声も上がっていました。

徐々に参加者も増え、イベントの規模も大きくなってきましたが、今年の冬至もやります、キャンドルナイト。キャットストリートでキャンドルのあたたかさ、心地よさを体感しに来て下さい。

キャンドルナイト公式 HP
<http://www.candle-night.org>

(田沼 彩子)



深澤チームが担当したTOP to TOPの階段

第23回街歩き

隅田川ライン

2004年07月29日

今回の街歩きは、日の出棧橋から浅草までの隅田川ライン。個性的な12の橋をくぐりぬけました。各自のベスト3はどれでしょう。また川を挟んで向かい合う対照的な風景。隅田川はこれからどんな夜景を映し出していくのでしょうか。



レインボーブリッジと月が浮かぶお台場



ビルが群れをなす汐留シオサイト



最初に出合ったのは勝鬨橋

梅雨明けに暑い日が続く中、日の出棧橋水上ターミナルを出航し、浅草まで50分程の水上バスに探偵団員22名が乗込みました。ちょうど日没の時刻に集合し、乗込んだ7時10分には、お台場のあかりとレインボーブリッジ、空とコントラストを強くする月がもう涼しさを与えてくれたようでした。

出航すると、ぐんぐんと流れる夜景に団員は、船内を右へ左へ、前へ後ろへと駆け回り、光を観察している様子。隅田川ラインと云われる今回のルートは、個性的な12の橋をくぐりぬけました。進行方向の左手に汐留シオサイトを見ながら、最初に現れたのは、勝鬨橋。橋桁にブルーの無電極ランプの点光源、アーチには緑色の蛍光灯のライン照明という夜の姿。橋のライトアップはいつのころからか、アーチ沿いの蛍光灯が歯抜け状態に・・・。

勝鬨橋の次にライトアップされていた橋は、中央大橋です。上部は、メタルハライドランプの白っぽい光、下部には高圧ナトリウムランプのオレンジ色の光でシンプルなグラデーションが目に入りました。立体的に重なる高速道路と橋、そして川。超高層のマンションと川沿いの遊歩道。ビル街のあかり、商店ビルのネオンサイン。川の上は、暗くて遠くのものや川沿いがよくみえました。

続く橋は、ブルーのアーチが印象的な永代橋。ライトアップされた橋と、空の闇を映し出す川、カップルがデートするのも納得の光景でした。夜景は、綺麗な光があって、そこに闇がないとやっぱり美しくならない。都会は光に溢れて、闇がある場所を探すほうが難しいですが、川面は闇として、これからも残っていて欲しいです。

表情豊かな橋のライトアップ、一方で、水辺の風景は、人通りのない遊歩道と安全のための街灯が作りだすさびしい風景。いつの間にか川を挟んで人の暮らしが2方向に分断され、異なる速度で発展してきてしまったようにみえました。川は街を引き裂くものではなくて、ネットワークの足になり、融合するものになれば、生きている水辺のあかりが垣間みれたかもしれません。

団員一行は、川面を渡る涼しい風を満喫し、浅草寺に到着。浅草寺で恒例の集合写真を撮影し、仲見世通りを闊歩しました。お土産屋も店じまいとなった後の仲見世通りに500lxの照度がありました。これは机の上で本を読むのに十分な程の照度です。年中お祭りが催され、人々が賑わうアーケードのパワーの象徴でしょうか。(上田夏子)



シンプルなグラデーションが綺麗な中央大橋



浅草・仲見世通りのアーケードのパスは圧巻



パワフルなキセノンランプでライトアップゲリラ!? 浅草寺での集合写真

第26回 研究会サロン 2004年08月06日

街歩き、インド・ムンバイ調査報告、韓国調査報告、

100万人のキャンドルナイト〔夏至〕など

記録的に続いた真夏日の最中に行われた今回のサロンでは、隅田川ライン街歩き、インド・ムンバイと韓国の海外照明調査報告、そして100万人のキャンドルナイト@キャットストリートの報告がありました。

上田団員から報告された7月29日の街歩きは、水上バスで行く隅田川ラインと夜の浅草でした。隅田川ラインは日の出棧橋から浅草までの50分、頭上を通り過ぎる12の橋を巡りながら川沿いの街並みを覗えるものでした。ライトアップされた橋を真横から、そして真下から眺めながら参加者は各自の「No1」を探したようです。カラーライトを使いながら光でその形状と存在を美しく現したものの、橋そのものの色や形状が光によって浮かび上がるもの、照明に話題性はなくともなぜか美しいと感じるもの、と皆さんの好みはそれぞれのようなものでした。一方で、川と町の関係についても話されました。いつの間にか川を挟んで人の暮らしが2方向に背を向けながら発展してきていると。確かに橋は照らされていて川沿いの街路は淋しいものでした。「裏側」として存在する川沿いの街路を見ると、川は町を引き裂いたものには見えませんが、川沿いの街並みが振り向きあえば川は2つの町を融合するものに見えるかも知れません。そして「間」として存在する川には空間があることに気づき、自然やスローな時間が求められている今、どこまでも続くこの空間が有効的に存在するように、向き合う街並みで、今は「無」になっている空間に明かりだけでなく息も吹き込んで欲しいものです。

続いて行われた海外調査報告は田中（謙）団員によるインド・ムンバイと早川団員による韓国の報告でした。東京で言うアメ横のような所はきっとどこかの国にも存在するのでしょうか。両者からそれぞれ訪れた都市の「アメ横」の照

明事情が紹介されました。共通して言えるのは質より量。手頃な電球・蛍光灯で手軽に簡単に商品を主役にする、言わばアメ横の文化であり、ステータスなのでしょう。もしそこに「質」が重視され始めたら、そこは違う文化へと移り変わるのかも知れません。しかし、韓国のそこでは、銀紙皿を電球の傘にしている工夫が見られました。効率良く光を使おうと考えたのか、よりいっそう商品に目が行くようにと考えたのか分かりませんが人々は学んでいるのだと感じます。一方、田中団員が死ぬ思いで撮ったと言うインドアメ横の写真には両サイドから突き出る暗いタン屋根がありその間に光をいっぱい受けた道のみが覗いて見えました。店内のみに収まった煌々とした光はそこに留まり、夜空を暗いままに残していました。世界の大都市では年々夜間の明るさを増し、宇宙からもその存在を認知できる程です。近年では夜空は暗いままでと、国内外において働きかける動きが見られます。偶然の賜物であっても改めて気が付くことで今後の照明環境づくりに小さな変化を起こせるかも知れません。

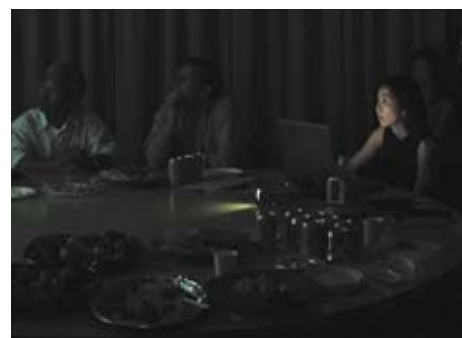
最後に田沼団員より夏至の夜に行われた「100万人のキャンドルナイト」のドキュメンタリータッチのビデオで報告がありました。そこには、キャットストリートで繰り広げられた数時間に向けられた熱意に希望に想い、そして下準備に熱心に取り組む姿がありました。そんな姿に、きっとより多くの人が共鳴し、各々の想いがさらに広がっていきだろうという期待が感じられました。（永田 恵美子）



インドでの出来事を楽しみながら聞かせてくれた田中団員の報告



韓国料理にも目を奪われる



熱心に説明する田沼団員

『世界照明探偵団 光の事件を探せ!』発刊!

“ Transnational Lighting Detectives ”

世界 19 都市の夜景 “World Lighting Journey” の写真の数々、昨年 8 月にストックホルムで行われた 6 都市の住宅照明についてのプレゼンテーション、照明探偵団の活動紹介などなど。面出団長自身による珠玉の文章と美しい夜景写真は眺めているだけでも楽しい仕上がります。

この本を作るために、これまで照明探偵団が 14 年間かけて撮影してきた膨大なスライドの山に埋まりながら、とっておきの一枚を探すべく奮闘しました。ブルーモーメントの映える街・コペンハーゲン、技を競い合う光のエキスポシティ・ラスベガス、急成長 / 爆発する夜景・上海、功罪入り混じる超特大夜景・東京・・・どの都市を取っても魅力的なタイトルがしっかりと馴染む、個性的な夜景のコレクションが出来上がりました。スライドの中には今はもう見られない風景があったり、過去と現在を見比べられるものもあって、変化し続ける都市夜景

ならでは楽しみ方もあります。また、夜景写真と対応した地図も掲載されているので、この本を片手にあなたも世界照明探偵をしてみたいかがでしょうか。

さらに今回は建築家の原広司さん、作家の島田雅彦さんなど各分野でご活躍されている方々から夜景や光に関するコラムも頂いており、この内容にも注目です。

今回同封したお申し込み用紙を使用して頂けば、照明探偵団倶楽部員の方は特別価格での購入が可能です。この 1 冊でぜひ照明探偵の楽しみを広げてみて下さい。

発行所：鹿島出版会

定価：2,625 円（倶楽部会員特別価格：2,100 円）
(田沼 彩子)

8 月末に鹿島出版会より『世界照明探偵団 光の事件を探せ!』が発刊されました。

これまで照明探偵団が撮りためてきた世界各都市の夜景や住宅照明、照明探偵団の活動など美しい写真と文章の情報満載です。ぜひチェックしてみてください。

< 目次 >

1 章 世界の夜景が語ること

パリ

リヨン

ロンドン

コペンハーゲン

モスクワ

ベルリン

イスタンブール

ベニス

バルセロナ

ニューヨーク

シカゴ

ラスベガス

ブエノスアイレス

シドニー

ムンバイ

バンコク

シンガポール

上海

東京

2 章 住まいのあかりが教えるもの

コペンハーゲン - 窓辺から誘う暖かい光

ストックホルム - 光の工夫で冬をのりきる

ハンブルグ - 暖かなキッチンに家族が集まる

ワシントン - 殺風景なところに密集する特大住宅

シンガポール - 南国の日差しが涼しげなインテリアに

東京 - 白く輝く UFO が、部屋の中央に浮遊する

3 章 世界照明探偵団とは何か?

英雄と犯罪者を探せ 街歩きの楽しさ

さっと照らしてすぐ逃げろ ライトアップゲリラ

光の文化を語ろう 市民参加イベント・シンポジウム・展覧会

世界照明探偵団とフォーラム

照明探偵団について

コラム執筆者：原広司、島田雅彦、小池一子、浅川敏、原研哉



ArchiTV LIVE24

@ 建築会館

2004. 10. 02

「照明探偵団・闇から出発しよう!」と題して面出団長による学生ワークショップが行われ、約150名の学生が集まりました。2時間のワークショップは照明デザインレクチャー・闇体験レクチャー・中庭照明レクチャーの三部構成で行われました。

まずLPAの仕事を紹介しながら、団長の光と空間に対する理論を解説。その後会場内の照明を完全におとし、闇の体験。ろうそくやLEDなどの弱い光から生まれる空間、あるいはダウンライトや蛍光灯の光のもとに生まれる空間などの関係を体験しました。

一方会場外の中庭では、学生が建築会館中庭のライトアップを行い、面出団長による照明レクチャーが行われました。

以下、たくさんの学生探偵団の皆様から感想が寄せられました!

■テーマは揺らぎと行動を誘発する光でした。知識のない私たちにとって計画から機材の操作まですべてが手探りの作業でしたが、中庭に照明が点灯した瞬間の参加者の歓声が今も忘れられません。ご協力くださったすべての方に心からのお礼を申し上げます。
(飯田彩・千葉大学)

■とにかく水玉をたくさん作るのがテーマだった。床面に映された水玉はカラフルに変

化し、人の行為を喚起させる。光が人と交わり場が発生する。10月2日の夜、建築会館の整然とした中庭はゆるやかに変化を起こし、光の波を起こす心地よい水面へと変化しました。

(土屋匡生・横浜国立大学)

■光のON/OFFというシンプルな操作によって導かれる人々を見て、光のもつ強さに私自身も責任を感じ、また光のようなとてもデリケートなものを扱う事は新鮮で、もっと色々試してみたいなと思わせる照明計画の体験でした。

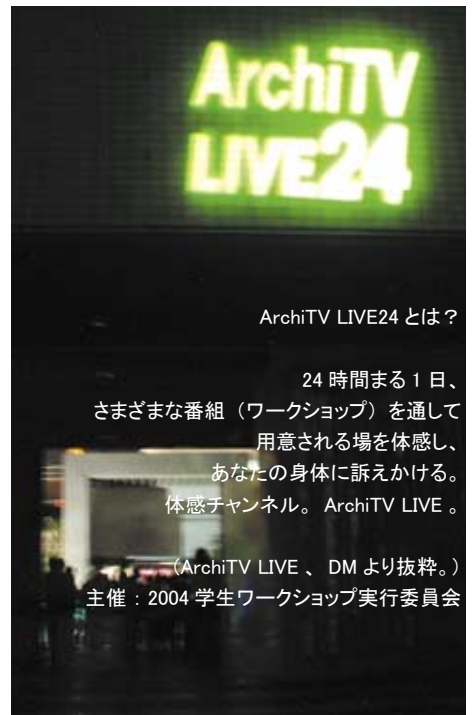
(田中香織・東海大学)

■光は、色、時、場などの条件や加減の仕方で良くも悪くもなるので、イメージ通りいかなかった不安があり大変でした。しかし、学生の間照明の難しさを体験し、成功で終わったことはとてもいい体験になり、照明に対する興味をより深いものに出来ました。

(田中秀一・横浜国立大学)

■archi TV、我々にとってそれは、一丸となって演出した光のパフォーマンス。周囲の理解と協力もあり、本番、夢のような演出が成功した。PCでプログラム組まなくても、複雑な機器を用いなくても、気軽に出来る。始めてみよう、照明探偵団。

(山本晶子・東京工業大学)



ArchiTV LIVE24 とは?

24時間まる1日、さまざまな番組(ワークショップ)を通して用意される場を体感し、あなたの身体に訴えかける。体感チャンネル。ArchiTV LIVE。

(ArchiTV LIVE、DMより抜粋。)
主催: 2004 学生ワークショップ実行委員会



まずは、ホールで闇を体験します



たくさんの水玉が重なる講評風景



水玉はカラフルに変化



キャンドルを持った人の顔面は、満月の夜と同じ明るさ



面出団長を取り囲む熱心な学生のみなさん

照明探偵団のホームページがリニューアル！

照明探偵団の HP が新しくなりました！

<http://www.shomei-tanteidan.org>

新しいトピックスなど、わかりやすくアップするように心がけていきますので、チェックしてみてください。

あわせて照明探偵団のメールアドレスも変更しました。

office@shomei-tanteidan.org

お手数をおかけして申し訳ありませんが、登録の変更をよろしくお願いいたします。



www.shomei-tanteidan.org

★★投稿募集中★★

照明探偵団通信 vol.21 (次号) の原稿を募集しています。独自の照明探偵レポート、光に思う今日の日本、照明について知りたいこと、疑問に思っていることなどなど、テーマは何でも結構です。日頃ひかり、あかりなどについて思っていることや様々なレポートを照明探偵団通信に発表してみませんか。原稿は、e-mail で送付して下さい。メール上記述でも原稿テキストファイル添付でも OK です。投稿お待ちしております！

照明探偵団・事務局
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-28-10
ライティングプランナーズアソシエーツ内
TEL : 03-5469-1022 FAX : 03-5469-1023
e-mail: office@shomei-tanteidan.org <http://www.shomei-tanteidan.org>

照明探偵団日記

ハンブルグでの Transnational Tanteidan Forum の後、ずーっとヨーロッパを南下してオリンピックが終わったばかりのギリシャへ向かいました。東にはエーゲ海、西にはイオニア海という位置にあって、島の数はなんと 3300。その内のひとつ、エーゲ海に浮かぶ三日月形の島、サントリーニを訪れました。照明探偵団が世界中どこへでも調査に行く、と言ってもまさかエーゲ海まで行くとは・・・。「変化する自然光と断崖絶壁に建つ白亜の街並みを撮る」、というのが今回のミッション。どこまでも青い海と空、そしておもちゃのような白い街並みを写真で見たことはあったけれど、そのままの世界が目前に広がると、自分がその場にいる実感なんて湧かないものです。昼間は白を背景に強い太陽がつくるコントラスト、そして空、海の何種類ものブルーが重なる風景が、そして世界一美しいと言われるサンセットが毎日繰り返されます。自然光にこんなバリエーションがあるなんて知らなかった。この続きは次号にて。

(田沼 彩子)

【照明探偵団の活動は以下の 22 社にご協賛いただいております。】

ルートロンアスカ株式会社 岩崎電気株式会社 小糸工業株式会社 株式会社菱晃 カラーキネティクスジャパン株式会社 松下電工株式会社 株式会社ウシオスペース ヤマギワ株式会社 山田照明株式会社 マックスレイ株式会社 ニッポ電機株式会社 株式会社エルコ・トートー 株式会社ウシオライティング 日本フィリップス株式会社 トキ・コーポレーション株式会社 東芝ライテック株式会社 大光電機株式会社 金門電気株式会社 小泉産業株式会社 マーチンプロフェッショナルジャパン株式会社 湘南工作販売株式会社 株式会社遠藤照明